

加西への愛 大空に

加西市を明るく笑顔が溢れるまちにしたいとの思いで、地域活動を通ける竹本さん。「まずはやってみる」姿勢を大切にしながら、次々と新たな挑戦を続けています。仲間と共に熱い思いを持ち、繋がっていく先で叶えたい夢とは？



Instagram

キラリびと vol.9

竹本良三 Ryouzou Takemoto

昭和58年生まれ。中学校を卒業後、父親が経営する会社に就職。平成21年、父親の会社を引き継ぎ(株)RT工業を立ち上げる。本業の傍ら、市民団体を設立し、各種イベントへの参加や、気球の飛行など加西市を盛り上げていくためにさまざまな活動を行っている。市の養成パイロット第1号。

気球に乗りたい

ある晴れた休日の朝、竹本さんが目にしたのは青空に浮かぶ1機の気球でした。「運転中にパッと見たら、目の前を気球が横切ったんです。その瞬間『乗ってみたい』って率直に思いましたね。笑みを浮かべ自慢の髭をさすりながら当時の心境を教えてくださいました。今から7年前、この時初めて加西市で飛行する気球を間近で見たといいます。その日から興味を持ち、イベントにも積極的に出かけるようになりました。「気球を見かけた人が駆け寄ってきて嬉しそうに写真を撮る姿や笑顔を見て、なんて素敵乗り物なんやろうと思ったんです」。

加西市は平成28年、気球の飛ぶまち加西条例を制定。そして3年後、オリジナル気球「加西ピースバルーン号」が誕生します。

竹本さんは令和元年、市の養成パイロットの第1号となります。

会社のトップとして

株式会社RT工業。ここは溶接を主体に建設機械の部品を作っている会社です。竹本

のかと聞くと冒頭の言葉が返ってきました。中でも一番びくびくしているのが気球だということです。

「まさか自分がライセンスを取得して空を飛ぶとは夢にも思いませんでした。市からの要請に「協力したいという思いで二つ返事で引き受けました」。ライセンス取得までの道のりは簡単ではなく、座学が14時間、同乗訓練飛行は10回以上かつ10時間以上におよんだといえます。「人生で1番勉強したかも」と笑う竹本さん。フライトは毎回緊張するといい、特に着地時はパイロットの技術や判断力が問われ、操るのはすごく難しかったようです。魅力を聞くと「子どもが好きやから。あの笑顔を見たらまた飛ぼうって思っんです。子どもを笑顔にさせる魅力があるよね」とにやりと笑いました。



九会小学校での気球教室。笑顔で竹本さんを囲む

さんはこの会社の社長をされています。社名は自らの名前から取りました。中学校卒業後、父親が経営する会社で働きましたが、働き始めて10年が経過した26歳の時、主要取引先が倒産し、その煽りを受けて会社の経営も傾きました。「このままでは会社が無くなってしまふ。今までお世話になってきた取引先もたくさんある。何とかしたい」そう思った竹本さんは会社を引き継ぎ、社名も一新してスタートさせました。

「最初は不安でした。でも今では取引先にもかわいがられて今年で12年目になりました。従業員も20名を抱える会社になりました」と振り返ります。がむしゃらに働いているうちに、取引先の社長から信頼を得ることができ、徐々に取引先を増やしていきます。

加西商工会議所の青年部に所属したことも転機となりました。「青年部に入ったのは大きかったですね。色んな経営者の人たちと出会って、地域を盛り上げるために企画して。そこで学んだことが今に繋がっています」と話します。

そこで、竹本さんの強みを聞くと「もともと好奇心が旺盛。まずはやってみる。お客さんに「ありがと」と言われる時が一番やりがいを感じます」。溶接ロボットを操作しながら笑顔で語ってくれました。



甘いスープが特徴の播州ラーメン

まちと共に歩む

取材の最後に、青年部時代の仲間と共に活動した写真を見せてくれたが話してくれました。「気球を通して全国に加西市を知ってもらいたい。そして、加西を好きになって、住んでもらいたいです」。続けて「人と出



ミュージックファンタジーフェスタのメンバーと

会い、そして触れ合いながら活動が続けていることが本当に楽しい。自分の活動が、少しでも地域を元気にしているのかなと思うと頑張れます」。そう言って一緒に地帯を盛り上げる仲間との思いを胸に、竹本さんは今日も加西のまちと共に歩き続けます。

子どもに魅かれて

経営者には不安がつきものです。いつ取引先がなくなるかわからない不安は常にあるといい、仕事のことを考えると中々寝付けない日もあった。

竹本さんは常に前向きです。目標達成に向けて、ひたむきに努力を続けます。

「今こうやって仕事をいただけているのも色々な人の協力のお陰。感謝しかないです」。

「加西が好きだから。加西愛は誰にも負けません」。そう話す竹本さんは市民団体「播州のべー団」を設立し地域活動も行っています。婚活イベントやミュージックファンタジーフェスタ、加西サイサイまつりや自治体関連イベントへ「りょうちゃんラーメン」を出店、そして、気球のパイロット。ハッピーバルーンクリスマスや小学校への授業にも参加しています。なぜそんなに幅広く活動する

すっきやかさい 1月 広報

この機械で1日400本の溶接をするという。取引先の期待に応えるため従業員への指導にも力が入る



表紙.....01

キラリびと 竹本良三.....02

新年のごあいさつ.....04

特集.....06

市政情報.....08

TOPICS

新型コロナワクチン追加接種
子育て世帯への臨時特別給付金

イベントカレンダー.....14

まちかど PHOTO ★ニュース.....16

くらしお役立ち情報.....19

わくわく子育て情報.....25

そうだ！図書館へ行こう.....26

おくやみ／各種相談.....27

とびだせ！かさいっ子.....28

みんなで使おう加西弁

KASAI データバンク

R3.11.30 現在 (前月比)

人口／42,797人 (-42)

男／21,008人 (-33)

女／21,789人 (-9)

世帯数／18,214 (-10)

11月の出生数／18人

死亡数／38人

● 1/12、26は市民課・国保医療課窓口を延長
(17:15～19:00)